

2021年12月期第2四半期決算概要

2021年8月3日

コクヨ株式会社



目次

1. 2021年12月期 第2四半期実績
2. 2021年12月期 通期目標
3. 中長期方針
4. 参考資料

※ それぞれのドメインは以下のように表記しています。

空間価値ドメイン = 空間価値

ビジネスサプライドメイン = B サプライ

グローバルステーションナリードメイン = GST

※ 億円未満を切捨てています。

そのため内訳と合計及び差額が一致しない場合があります。

エグゼクティブ・サマリー

2021年 第2四半期実績

- ・ **グループ経営を推進し、販管費支出効率化やリソース再配分による筋肉質化を実施**
- ・ **これまで取り組んできた顧客への価値提供を活かし、新たな需要を取り込む**
 - 空間価値における **リニューアル需要を期初想定以上に確保**
 - GST中国事業において、**旺盛な女子文具需要を取り込み成長トレンド回帰**
- ・ 足元の好調な業績を反映し、**期初予想から増配**を実施

2021年 通期目標

- ・ 空間価値のリニューアル需要、GST中国事業の旺盛な女子文具需要は継続し、**今後も成長が見込めるものとして引き続き特に注力して取り組む**ことで、通期業績目標達成を見込む
- ・ 通期配当予想についても、配当性向40%及び増配を達成すべく、**期初予想から増配**を見込む
- ・ 更なる資本効率の向上を目指し、政策保有株式の売却や自己株式の取得を推進

中長期方針

- ・ 長期ビジョンCCC2030を具現化すべく、**11月に第3次中期経営計画を発表予定**

1. 2021年12月期 第2四半期実績
2. 2021年12月期 通期目標
3. 中長期方針
4. 参考資料

第1四半期決算発表時の業績修正

5/10開示

KOKUYO

オフィスリニューアル需要の影響等により **上期及び通期の売上高及び営業利益の上方修正を実施**

営業外損失の影響等により当期純利益は期初予想を据え置き

(億円)

	1~6			1~12		
	2020	2021		2020	2021	
	実績	期初予想	1Q時点 修正予想	実績	期初予想	1Q時点 修正予想
売上高	1,558	1,620	1,670	3,006	3,110	3,210
営業利益	100	103	131	148	152	186
経常利益	94	107	85	141	160	142
当期純利益	62	74	73	82	118	118

* 修正予想は、業績修正時のものです。

2021年12月期 第2四半期実績（対前年）

コロナ影響を大きく受けた**対前年で増収増益**を達成

グループ経営を推進し、販管費支出効率化やリソース再配分による筋肉質化を実施

継続的な収益性改善が進展

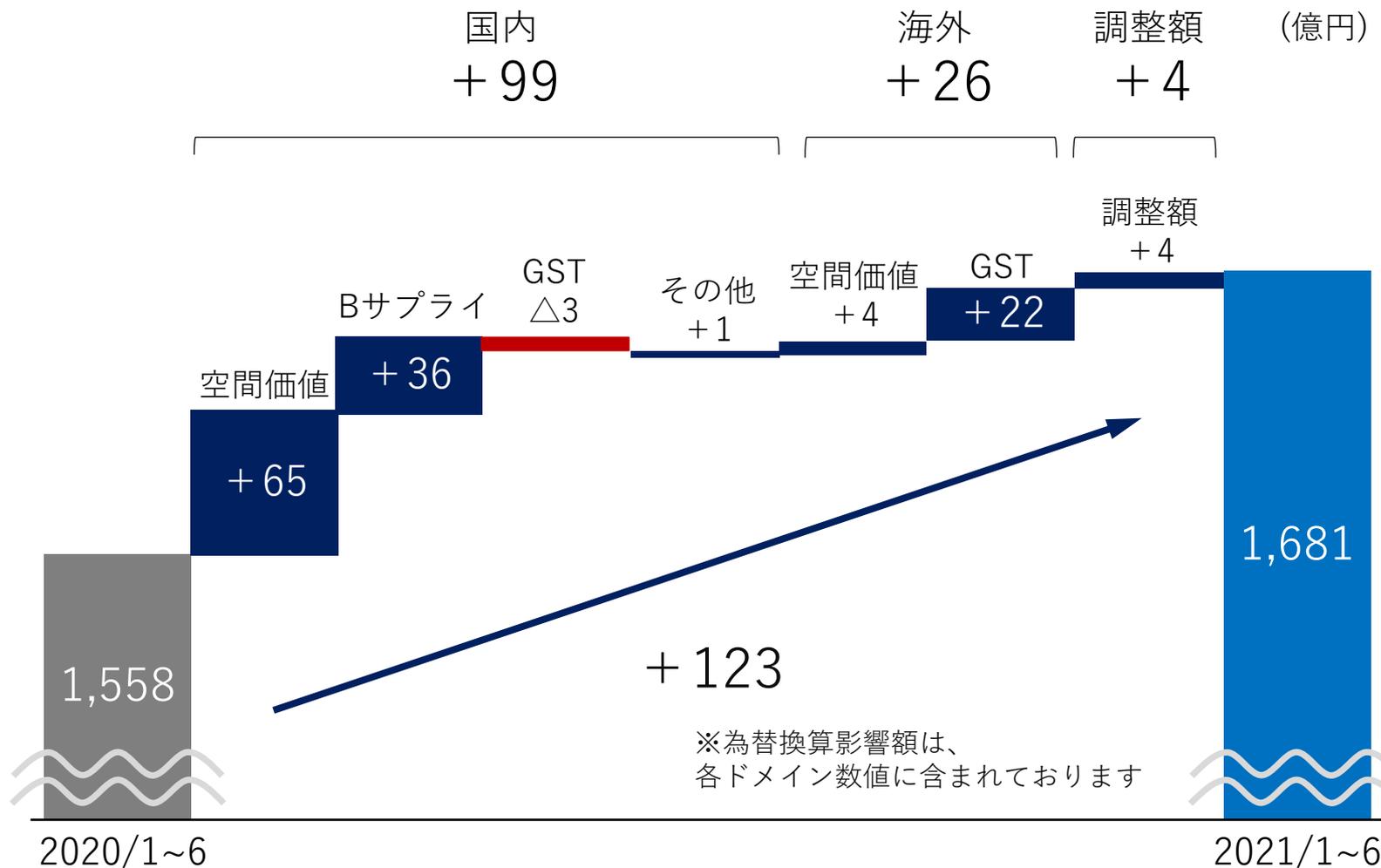
(億円)

	2020 1~6 実績	2021 1~6 修正予想	2021 1~6 実績	2020 実績 (差額)	2020 実績 (増減率)	2021 修正予想 (差額)	2021 修正予想 (増減率)
売上高	1,558	1,670	1,681	+123	+7.9%	+11	+0.7%
売上総利益	576	622	631	+54	+9.5%	+9	+1.5%
(率)	(37.0%)	(37.2%)	(37.5%)	(+0.5p)		(+0.3p)	
販売費及び一般管理費	475	491	484	+8	+1.8%	△6	△1.4%
(率)	(30.5%)	(29.4%)	(28.8%)	(△1.7p)		(△0.6p)	
営業利益	100	131	147	+46	+45.8%	+16	+12.3%
(率)	(6.5%)	(7.8%)	(8.7%)	(+2.3p)		(+0.9p)	
経常利益	94	85	104	+9	+10.5%	+19	+23.1%
(率)	(6.1%)	(5.1%)	(6.2%)	(+0.1p)		(+1.1p)	
四半期純利益	62	73	83	+20	+32.5%	+10	+14.1%
(率)	(4.0%)	(4.4%)	(5.0%)	(+0.9p)		(+0.6p)	

2021年12月期 第2四半期実績（売上高分析：対前年）

国内：空間価値を中心に大幅な増収

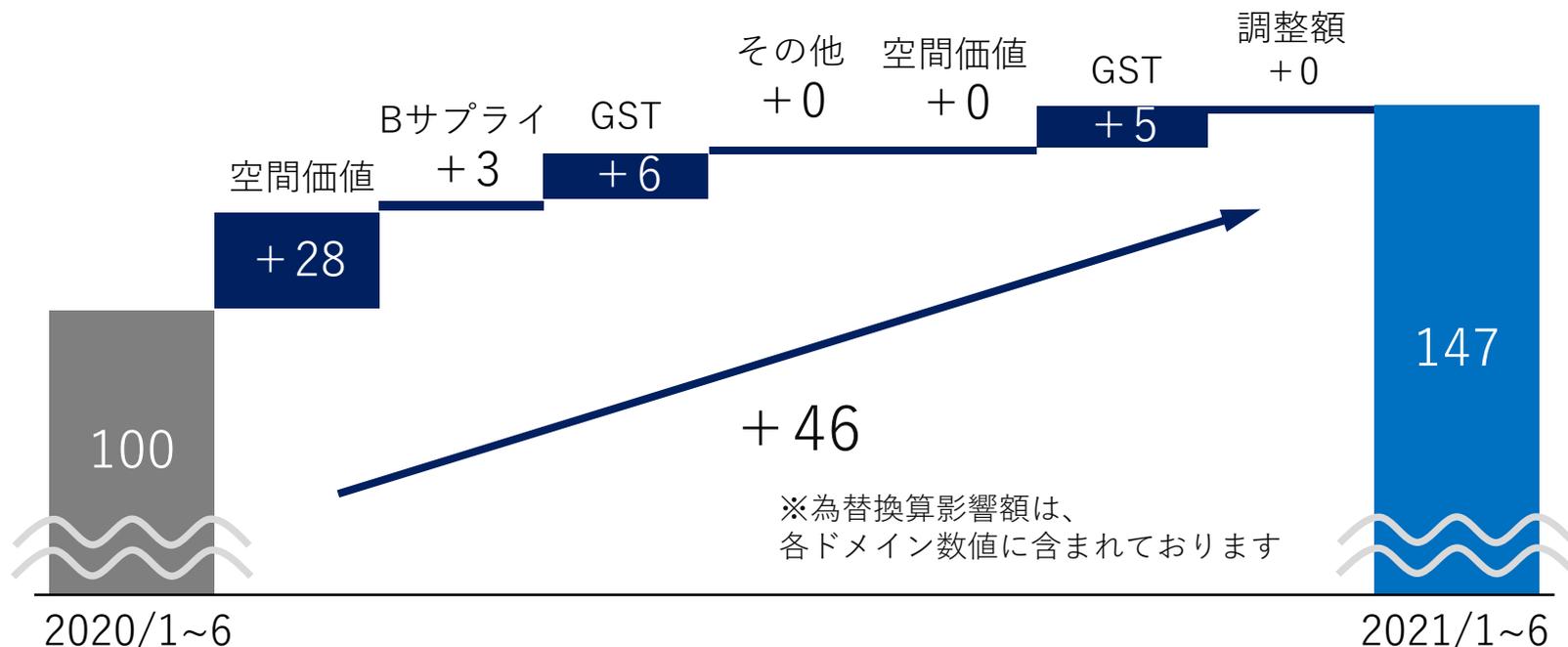
海外：GST中国が増収に寄与



2021年12月期 第2四半期実績（営業利益分析：対前年）

国内：空間価値を中心に増収による売上総利益増及び収益性改善が進展
 海外：GST中国における増収による売上総利益増が奏功

国内	海外	調整額	(億円)
+ 38	+ 7	+ 0	

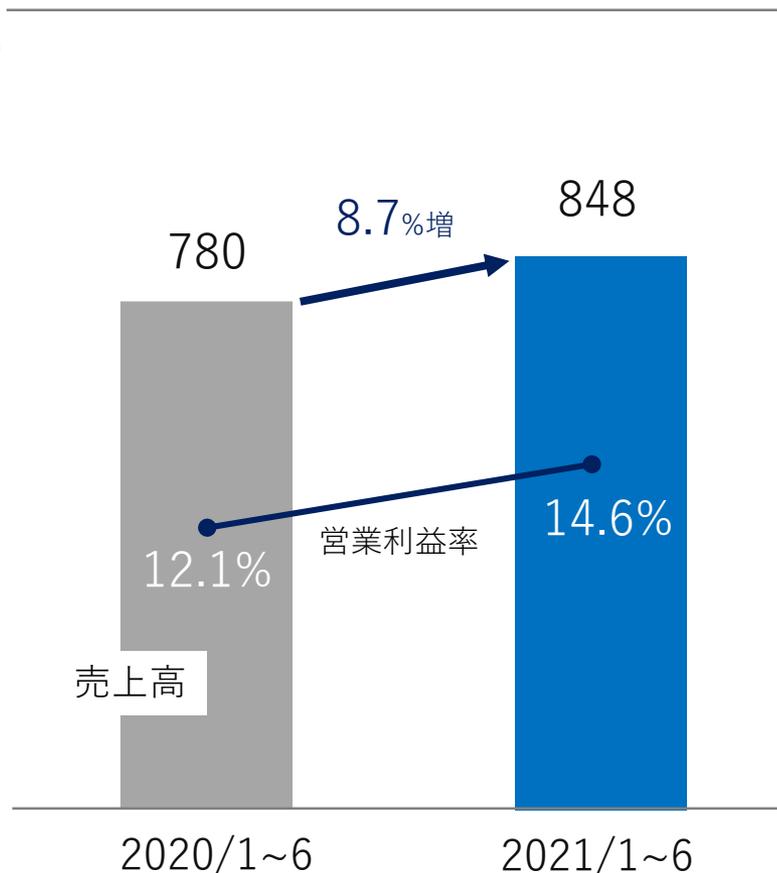


空間価値ドメイン

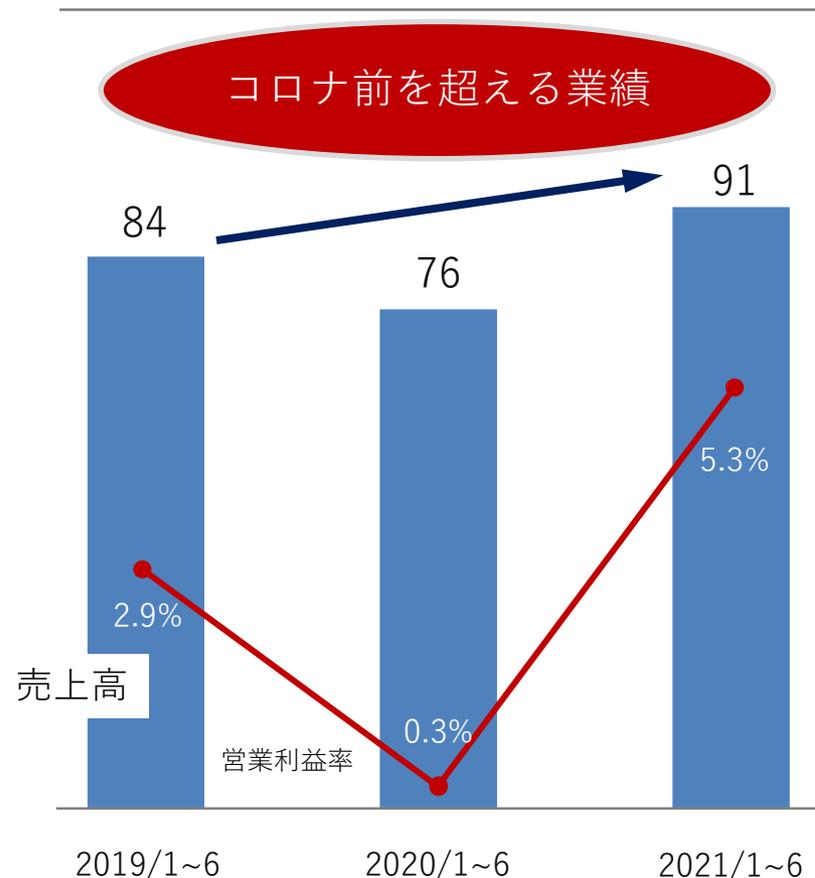
空間価値分野での成長に向けた付加価値提案に注力

国内におけるオフィスリニューアル需要、アクタスにおけるインテリア需要の取り込みが奏功

業績推移 (億円)



業績推移(アクタス) (億円)



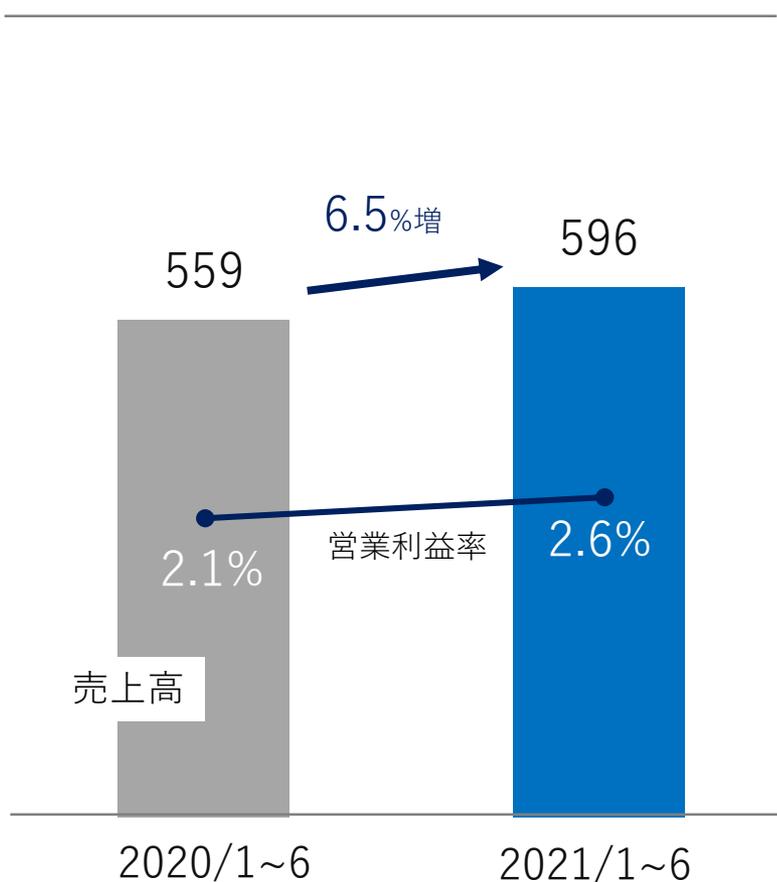
ビジネスサプライドメイン

事業の持続性向上に向けた構造改革や顧客基盤強化に取り組む

顧客出社率低下の影響を受けるも、**マイグレーション戦略は順調に進捗**

業績推移

(億円)



マイグレーション戦略の施策

営業体制

- ・営業体制の効率化
- ・カウネット営業強化

物流

- ・リソースの効率運営
- ・サービスレベルの見直し
- ・荷受けの一元化

商品

- ・カウネットPB販売機会拡大 (カウコレプレミアム)
- ・調達の一元化

マイグレーション戦略

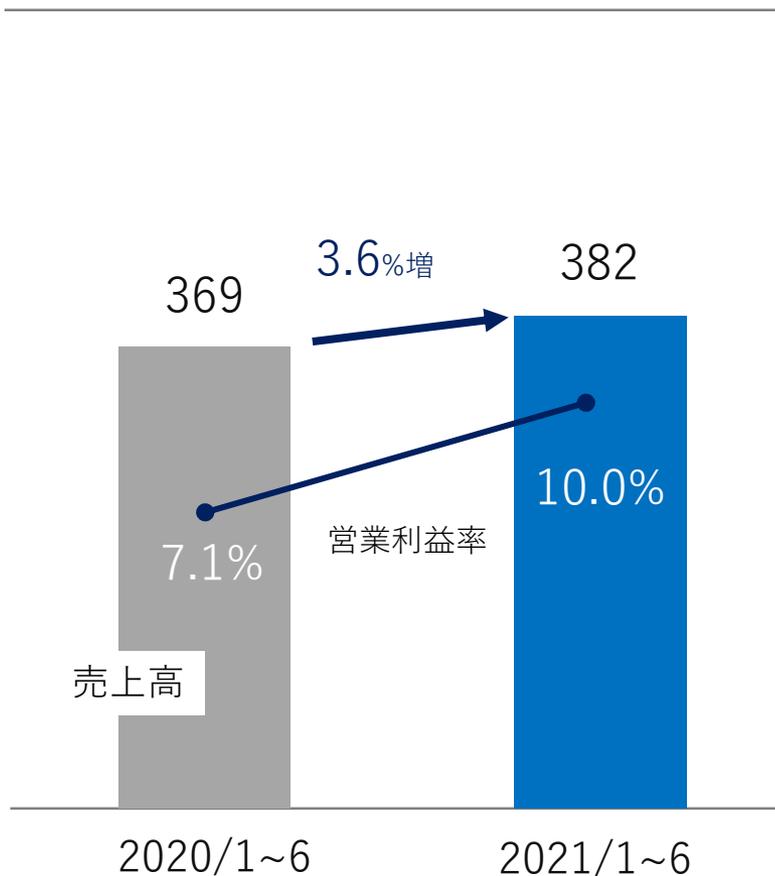
社内の複数流通チャネル間における機能統合を通じた効率化の取り組み

グローバルステーションナリードメイン

グローバル文具市場でのシェア拡大に向けて、新たな成長領域の確保に取り組む
国内及びインド等においてコロナ影響残るも、中国は女子文具需要により成長回帰

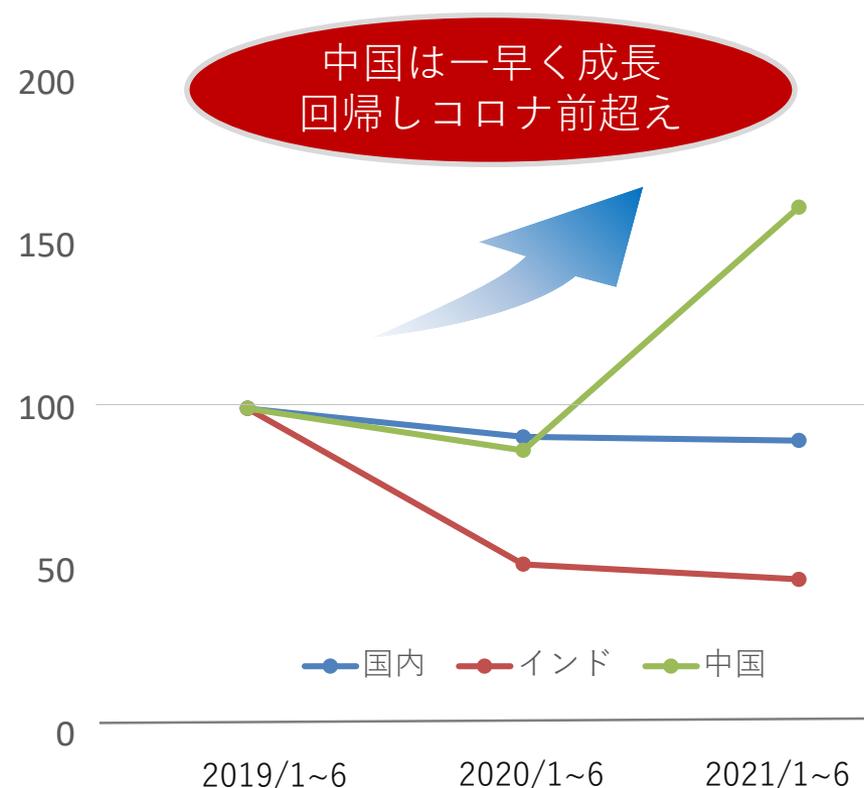
業績推移

(億円)



地域別売上推移

※2019年 = 100指数

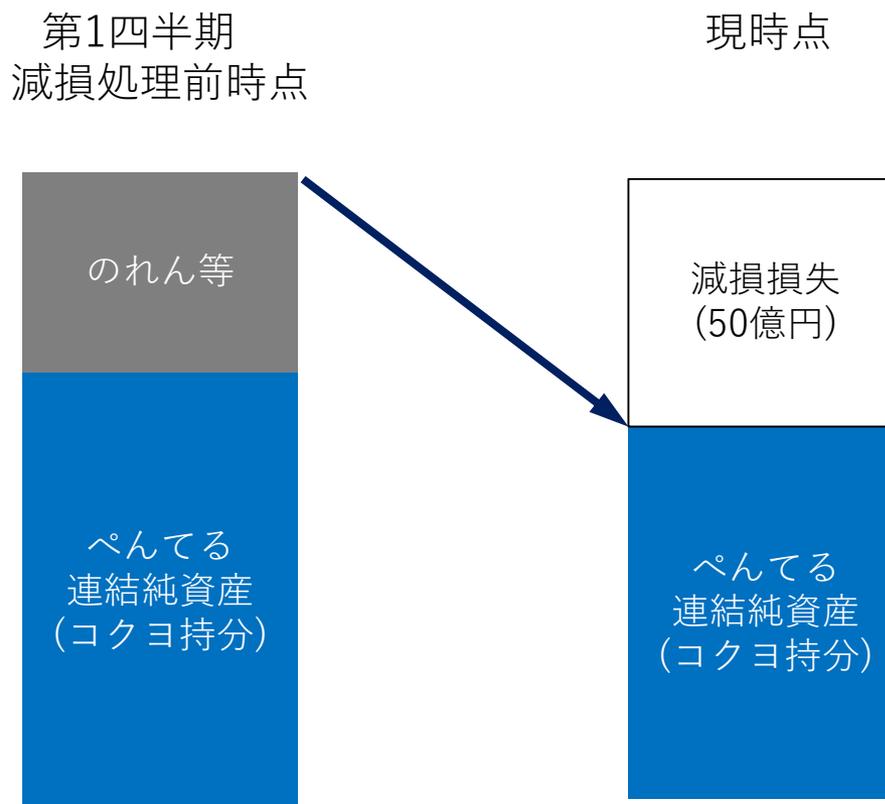


ぺんてる株式にかかる方針について

ぺんてるにて海外各国のコロナ影響等による中計の見直しを行ったことを受け、当社保有株式の減損を実施

ぺんてる新中計にて実施する構造改革等による企業価値向上V字回復プランを支援

ぺんてる株式価値



1. 2021年12月期 第2四半期実績
2. 2021年12月期 通期目標
3. 中長期方針
4. 参考資料

2021年12月期 通期目標

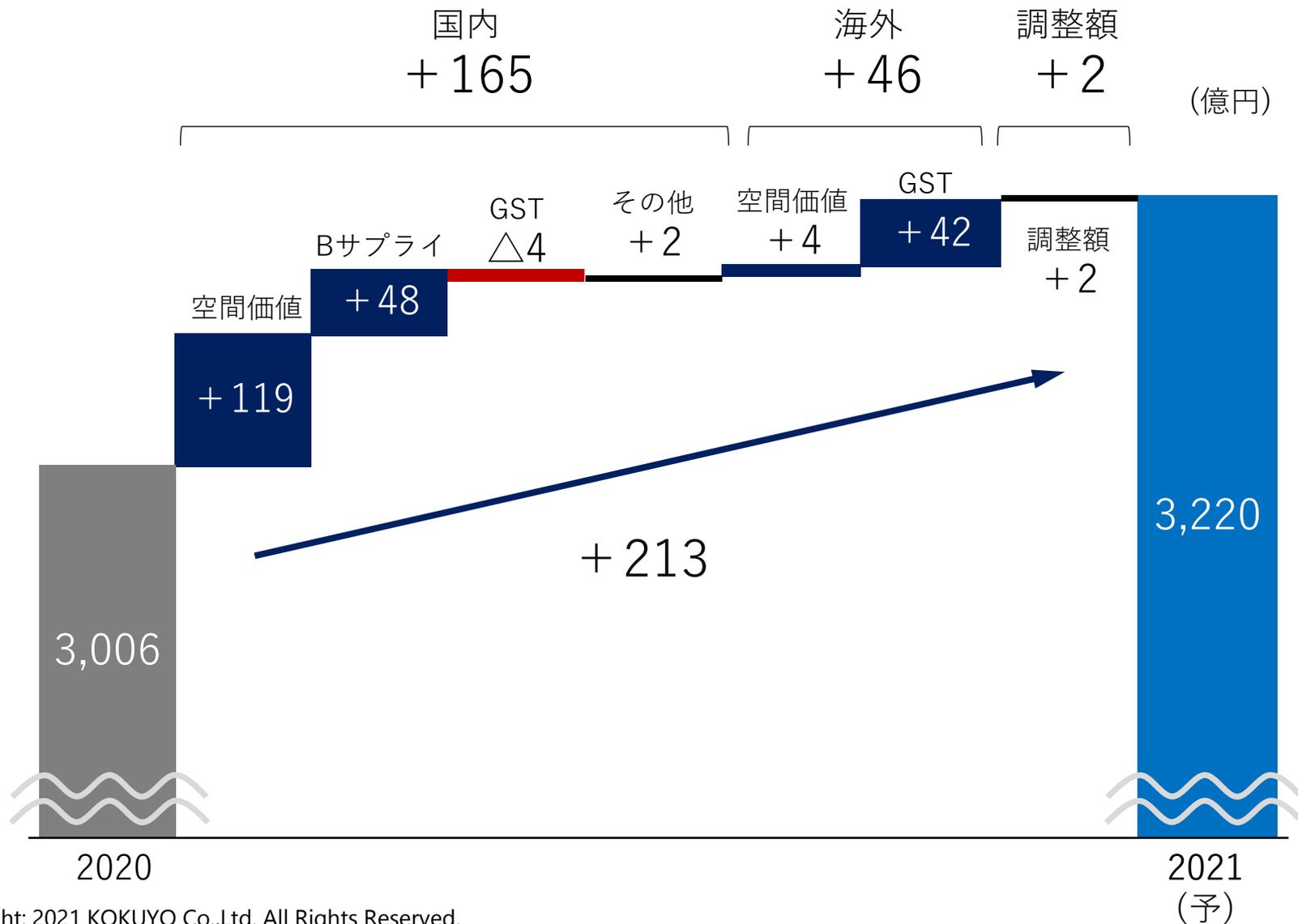
上期実績の上振れ分を反映し、通期業績予想を上方修正
事業活動正常化による戦略経費増を見込む

(億円)

	2020 実績	2021 目標	2020 実績 (差額)	2020 実績 (増減率)	2020 下期実績	2021 下期目標	2020 下期実績 (差額)	2020 下期実績 (増減率)
売上高	3,006	3,220	+213	+7.1%	1,448	1,538	+90	+6.2%
売上総利益	1,073	1,167	+93	+8.7%	497	535	+38	+7.8%
(率)	(35.7%)	(36.2%)	(+0.5P)		(34.3%)	(34.8%)	(+0.5P)	
販売費及び一般管理費	925	965	+39	+4.2%	450	480	+30	+6.8%
(率)	(30.8%)	(30.0%)	(△0.8P)		(31.1%)	(31.3%)	(+0.2P)	
営業利益	148	202	+53	+36.4%	47	54	+7	+16.4%
(率)	(4.9%)	(6.3%)	(+1.3P)		(3.3%)	(3.6%)	(+0.3P)	
経常利益	141	161	+19	+13.6%	47	56	+9	+19.8%
(率)	(4.7%)	(5.0%)	(+0.3P)		(3.2%)	(3.7%)	(+0.4P)	
当期純利益	82	123	+40	+48.2%	20	39	+19	+97.5%
(率)	(2.8%)	(3.8%)	(+1.1P)		(1.4%)	(2.6%)	(+1.2P)	

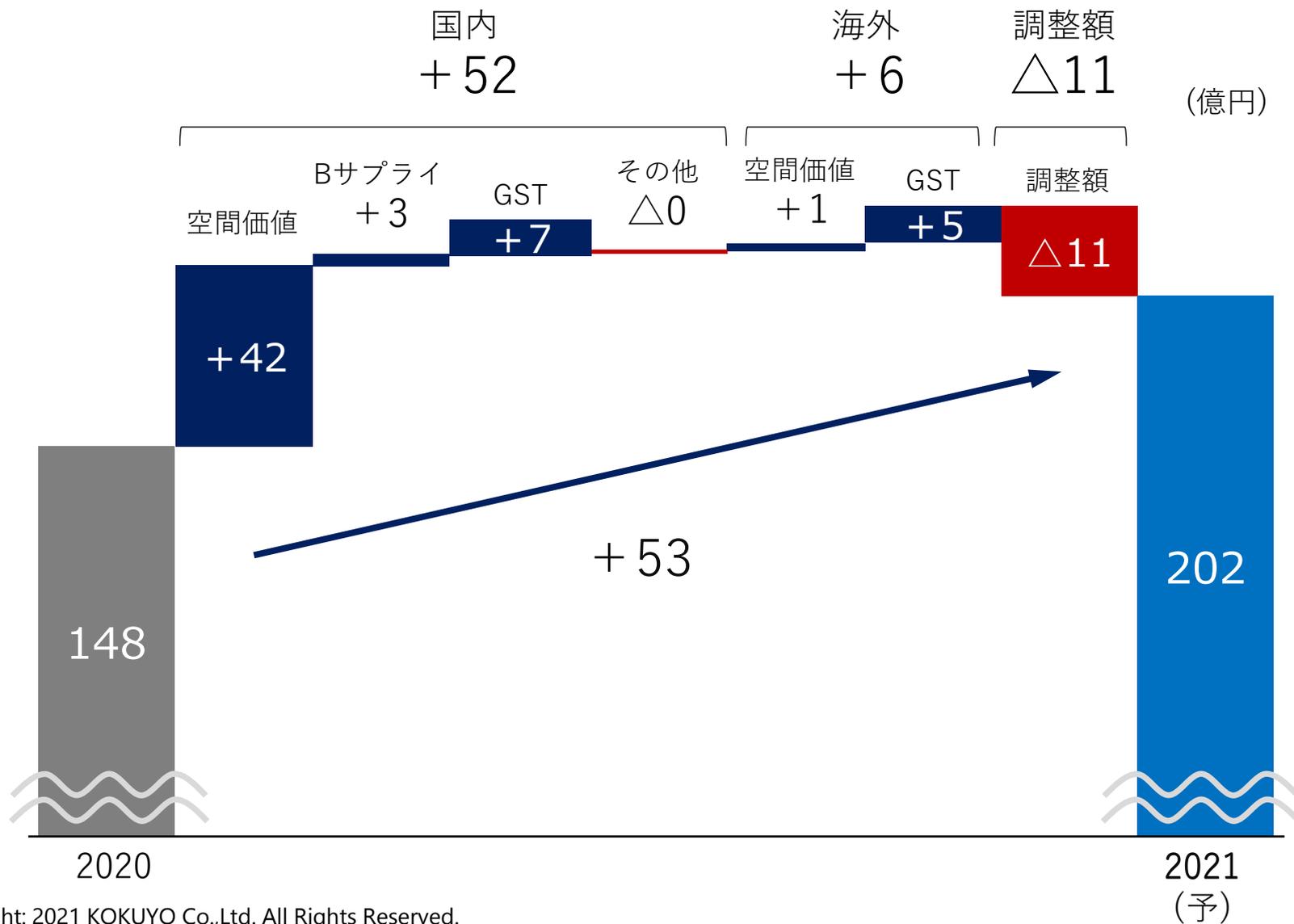
2021年12月期 通期目標（売上高分析：対前年）

空間価値を中心に大幅な増収を目指す



2021年12月期 通期目標（営業利益分析：対前年）

戦略経費を確保しながら空間価値を中心に大幅な増益を見込む

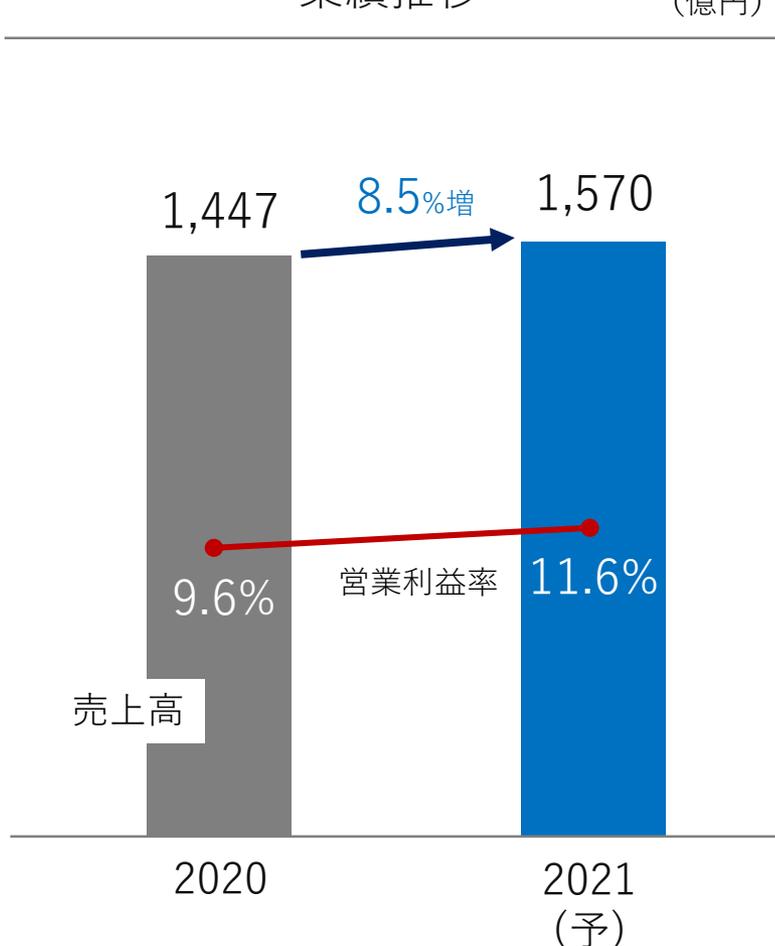


空間価値ドメイン

国内外ファニチャー事業及びアクタスにおいて増収増益を見込む
引き続きリニューアル需要等の確保に取り組み、分散化による新しい需要開拓を推進

業績推移

(億円)



*ABW(Activity Based Working)=内容に応じて「時間」と「場所」を自由に選択できる働き方

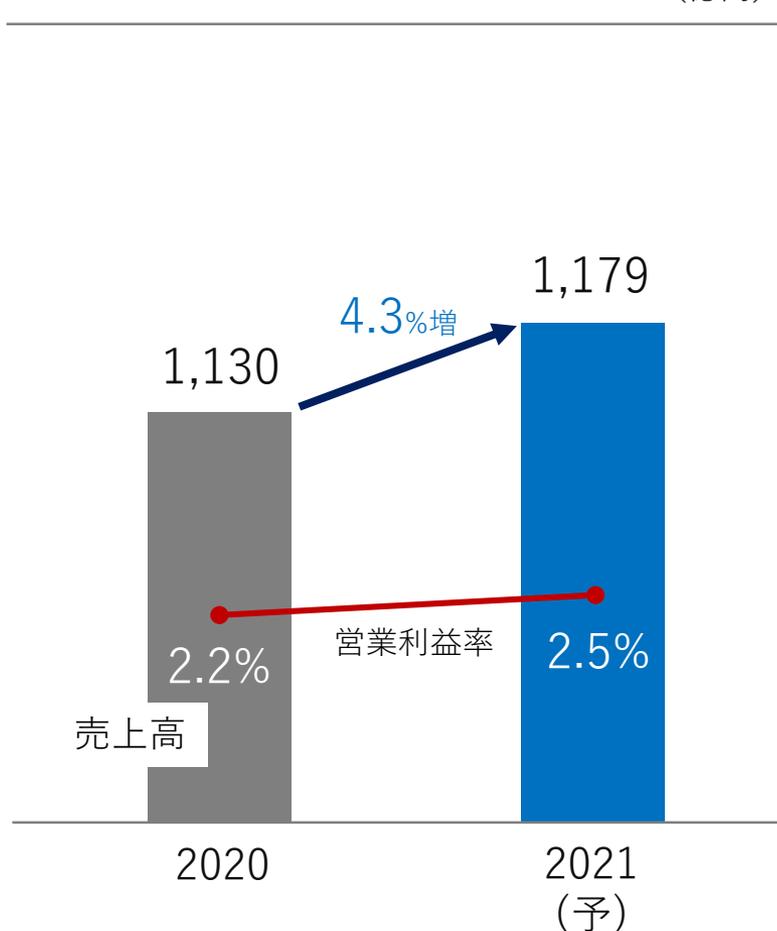
ビジネスサプライドメイン

カウネット及び代理店販売において増収増益を見込む

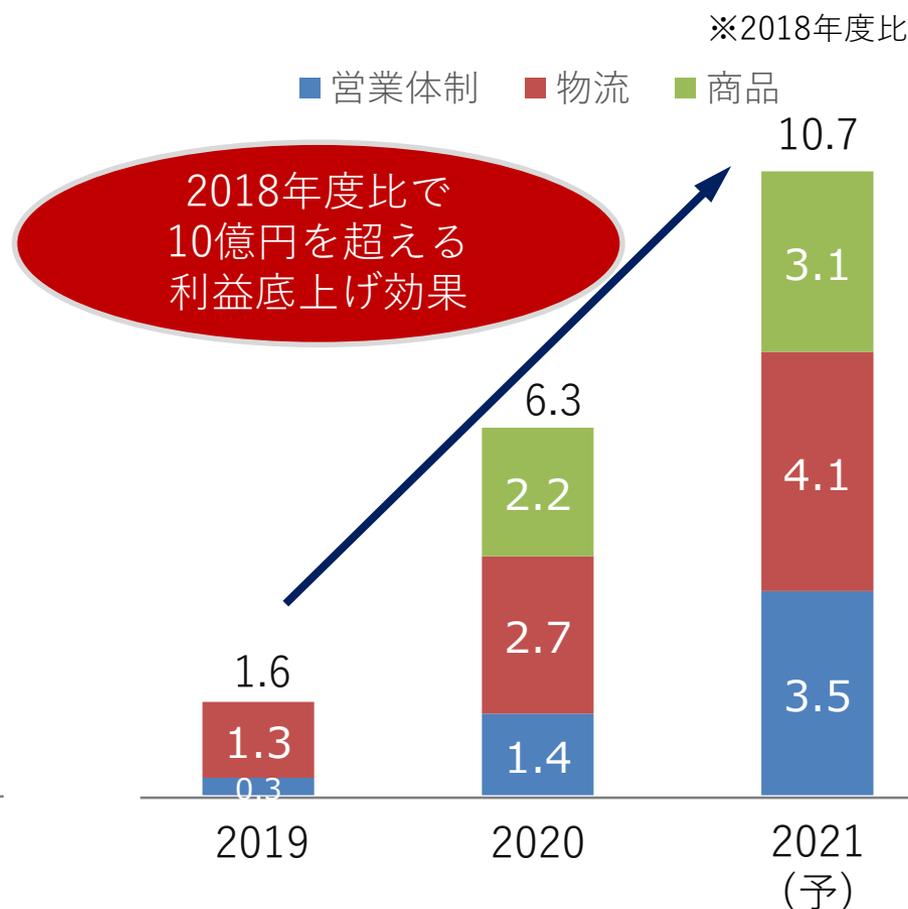
マイグレーション戦略は、営業体制、物流、商品等において進捗

年間10.7億円の営業利益底上げ効果(2018年度比)を見込む

業績推移 (売上高) (億円)



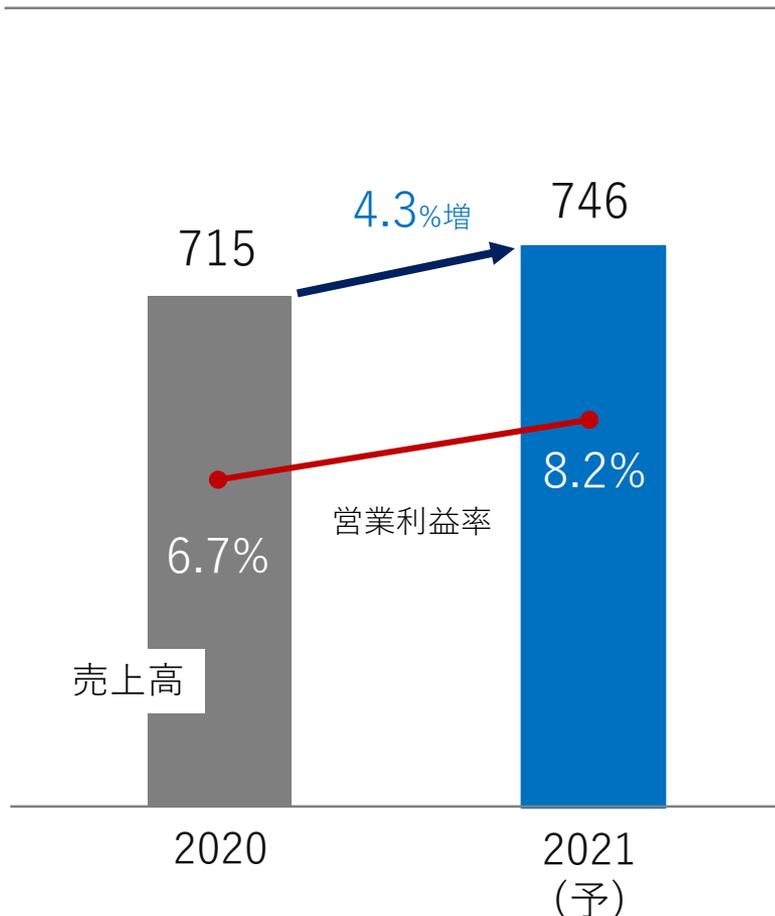
マイグレーション戦略における効果 (億円)



グローバルステーションナリードメイン

国内はリソース再配分による構造改革、海外は中国を中心に成長を目指す
インド及びアセアン等におけるコロナ影響に注視

業績推移（売上高） (億円)



KOKUYO-HAKU(2021.7開催)
(中国ステーションリー事業)



株主還元

株主還元の考え方

- ・長期ビジョンCCC2030の発表を通じて、**コクヨの更なる成長への意欲**を示し、長期的に期待してくださる株主様に対して理解を得たい

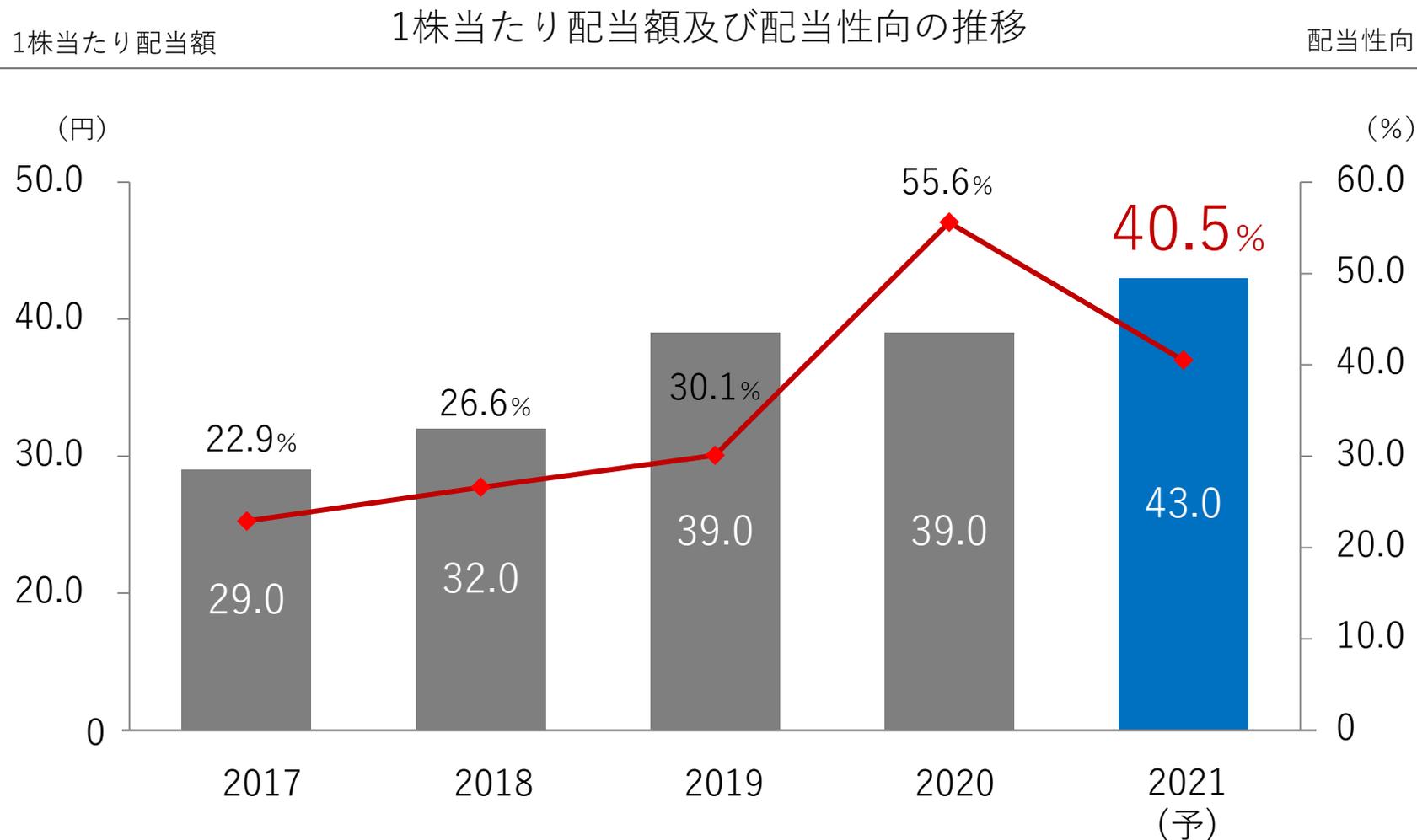
株主還元施策

- ・長期ビジョンCCC2030達成に向けた資本効率向上の取り組みスタートし、**2022年2月までを期限とした50億円の自己株式取得を実施**（6月末時点の取得率約30%）
- ・2021年は、第2次中計において当初掲げていた**配当性向40%及び前期比での増配**を達成すべく、**1株当たり43円の年間配当**を実施予定

配当額と配当性向の推移

継続的な増配と配当性向40%を達成見込み

業績の順調な進捗に鑑み期初予想から増配を見込む



1. 2021年12月期 第2四半期実績
2. 2021年12月期 通期目標
3. 中長期方針
4. 参考資料

持続的な成長力の獲得

Smart & Sustainable Transformation 2021

3 ヶ年における重点方針

- ・ メリハリを意識したスマートな稼ぐ力の向上
- ・ 中長期事業成長を前提とした効率的な事業運営

第2次中期経営計画目標数値

経済全体の先行き不透明感に鑑み、昨年10月に目標数値の下方修正を実施
その後の業績回復により、修正目標数値は大幅に超過達成見込み

第2次中期経営計画目標数値変遷

(億円)

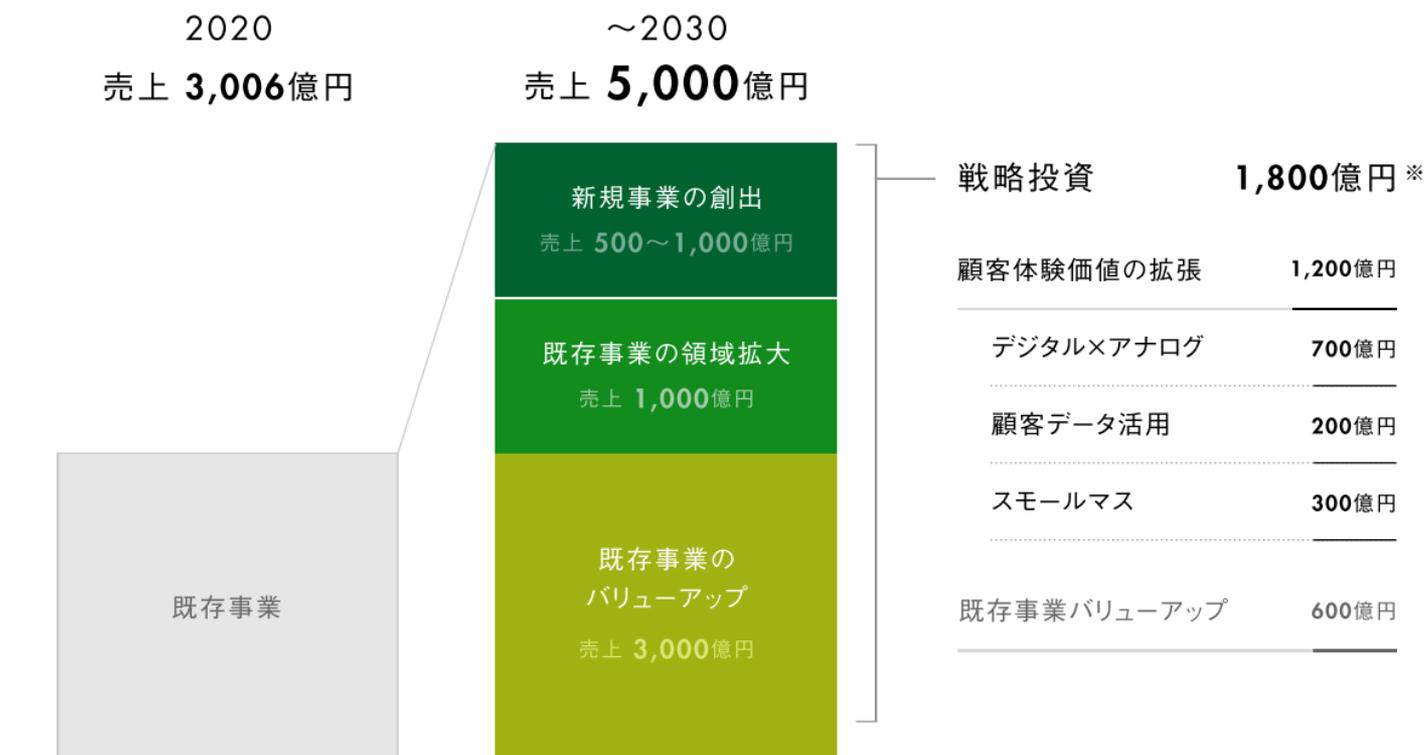
	2021						
	当初目標	第2次中期経営 計画修正目標 (2020.3Q開示)	通期見込	当初目標 (差額)	当初目標 (増減率)	第2次中期経営 計画修正目標 (差額)	第2次中期経営 計画修正目標 (増減率)
売上高	3,460～	3,050～	3,220	△240	△6.9%	+170	+5.6%
売上総利益	1,278～	1,093～	1,167	△111	△8.7%	+74	+6.8%
(率)	(36.9%～)	(35.8%～)	(36.2%)	(△0.7pt)		(+0.4pt)	
営業利益	215～	130～	202	△13	△6.0%	+72	+55.4%
(率)	(6.2%～)	(4.3%～)	(6.3%)	(+0.1pt)		(+2.0pt)	

*通期見込は、第2四半期決算時の開示数値です。

長期ビジョンCCC2030の概要

既存～新規に至る戦略投資の実行によって、2030年売上高5,000億円の達成を目指す

長期ビジョンCCC2030数値目標



* うち、M&A/ベンチャー投資に500～1,000億円の投資を想定

長期ビジョンCCC2030達成に向けた戦略投資の実行

新規事業の創出や既存事業の領域拡大等に向けて、外部企業との提携を推進
11月に開示予定の第3次中期経営計画において、今後の投資方針等につき説明

	事業内容	期待する効果
株式会社CLEAR	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート共有プラットフォーム「Clear」 ・生徒募集サービス「MEETS」 	<ul style="list-style-type: none"> ・CLEARの顧客接点を活用し、ビジネスモデルの拡充に向けた研究開発を推進
HOMMA, Inc.	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅の設計・開発及び関連ソフトウェア開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート化・コネクテッド化する住宅における仕事・学習環境の向上に関する研究開発および共同研究を推進
株式会社Photosynth	<ul style="list-style-type: none"> ・IoT 関連機器の研究開発「Akerun 入退室管理システム」の開発・提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売活動における提携 ・ニューノーマル時代のコミュニケーション活性化に向けた共同研究を推進
株式会社アマナ	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアルコミュニケーション事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客のコミュニケーション課題に向けて差別化されたソリューションの提供 ・ニューノーマルな働き方に向けて最適化したサービスの共同開発を推進

重要課題(マテリアリティ)の特定

SDGsへの賛同を行い、コクヨとしての重要課題(マテリアリティ)を特定

コクヨの重要課題(マテリアリティ)



(参考)事例紹介

様々な取り組みを通じて、社会価値の向上を推進



1. 2021年12月期 第2四半期実績
2. 2021年12月期 通期目標
3. 中長期経営計画の進捗
4. 参考資料

2021年12月期 セグメント別第2四半期実績（対前年）

KOKUYO

(億円)

	2020 1~6	2021 1~6	差額	増減率
売上高	1,558	1,681	+123	+7.9%
空間価値	780	848	+68	+8.7%
ビジネスサプライ	559	596	+36	+6.5%
グローバルステーションナリー	369	382	+13	+3.6%
その他	12	13	+1	+8.4%
調整額	△164	△159	+4	-
営業利益	100	147	+46	+45.8%
(率)	(6.5%)	(8.7%)	(+2.3p)	
空間価値	94	123	+29	+31.2%
(率)	(12.1%)	(14.6%)	(+2.5p)	
ビジネスサプライ	11	15	+3	+30.3%
(率)	(2.1%)	(2.6%)	(+0.5p)	
グローバルステーションナリー	26	38	+12	+45.6%
(率)	(7.1%)	(10.0%)	(+2.9p)	
その他	0	0	+0	+7.1%
(率)	(4.9%)	(4.9%)	(+0.0p)	
調整額	△32	△31	+1	-

2021年12月期 セグメント別通期目標（対前年）

(億円)

	2020 実績	2021 目標	差額	増減率
売上高	3,006	3,220	+213	+7.1%
空間価値	1,447	1,570	+123	+8.5%
ビジネスサプライ	1,130	1,179	+48	+4.3%
グローバルステーションリー	715	746	+30	+4.3%
その他	25	27	+1	+7.1%
調整額	△311	△302	+9	-
営業利益	148	202	+53	+36.4%
(率)	(4.9%)	(6.3%)	(+1.3p)	
空間価値	138	182	+43	+31.3%
(率)	(9.6%)	(11.6%)	(+2.0p)	
ビジネスサプライ	25	29	+3	+15.9%
(率)	(2.2%)	(2.5%)	(+0.2p)	
グローバルステーションリー	48	61	+12	+26.8%
(率)	(6.7%)	(8.2%)	(+1.5p)	
その他	0	1	+0	+85.2%
(率)	(2.1%)	(3.7%)	(+1.6p)	
調整額	△64	△71	△6	-

〒108-8459 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス18階

コクヨ株式会社 理財本部 IRユニット

E-Mail : ir@kokuyo.com

KOKUYO

*本資料で記載されている業績予想、将来予測は現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。